

実施計画事業名		稚内ブランド創出事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		建設産業部 水産商工課		課長(主幹)名	畑 均		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	2	誇れる稚内ブランドの確立				
	施策	1	食のブランド化を推進します				
	関連施策						
現状と課題	本市では、観光客などが購入したいと願う土産品、特産品、ブランド産品、ご当地グルメが少ない。また、ホタテやタコ、ナマコや勇知イモなどの一次産品もすぐれたものでありながら、内外に地域ブランドとして認知されるには至っていない。ブランド化を進めることで、本市への誘客に大きなプラス効果が期待できる。さらに、ブランド化、ものづくりへの本市の支援メニュー充実が課題。						
目的	ブランド認証制度を確立し、ブランド品を増やしていくことで、本市のイメージアップによる誘客促進を図るほか、ものづくりを活性化させることで中小企業の投資を活性化させる。						
5ヶ年展開の	平成21年度…地場産品や加工品のブランド化を進めるための具体的方策の検討を行うため、中小企業政策審議会を立ち上げ、検討を進める。 平成22年度以降…審議会での検討内容を受け、具体的な事業展開を進めていく。 その他、ブランド化を進めるために必要な支援を行う						
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	稚内ブランドとして認証された数		件	目標	0	3	5
説明	稚内ブランドの認証組織で認証された製品の数			実績	0	0	
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	ものづくり支援のための助成制度で助成した件数		件	目標	0	5	7
	説明	本市が交付する助成金の交付件数			実績	0	0
				目標	-	-	-
	説明				実績		
				目標	-	-	-
	説明				実績		
				目標	-	-	-
説明				実績			
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	553,517	577,230	584,873		
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	500	0	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	511,510	535,586	535,000		
	一般財源	千円	41,507	41,644	49,873		
	この事業にかかる職員数	人/年	1.40	1.35	1.35		
人件費(B)	千円	9,696	9,168	9,168			
計(A+B)	千円	563,213	586,398	594,041			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 中小企業政策審議会での検討結果、平成22年度以降、次の取組みを開始する。 ①ブランド認証組織を設立して加工品等の「稚内ブランド」認証を行なう ②本市ならではの水産物の地域団体商標登録を支援する						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>c a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する></p> <p>当初の目標は、平成22年度中にブランド認証産品を送り出すことであったが、目標達成には至らなかった。その理由としては、推進体制のあり方、ブランド認証基準の大枠について、庁内外との意見調整に時間を要したことによる。しかし、3月に認証品のジャンルや基準などについて検討を進めるための組織として「稚内ブランド推進協議会」を立ち上げることができた。また、国費負担事業(「地域ICT広域連携利活用事業」)を活用して「勇知いも」や「稚内牛乳」など農産品や乳製品のブランド化に向けた取り組みを実施した。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p>b a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p> <p>稚内ブランド創出事業の予算を執行することができなかった。</p>
総 合 評 価	<p>B 見直しの検討が必要</p> <p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する></p> <p>稚内ブランド推進協議会においてブランド認証制度の大枠を固めた上で、6月をめぐりにブランド認証委員会を設置。公募の上、秋にも第1次認証産品を送り出し、内外に発信していきたい。課題としては、広く産品を認証することでブランド化を図るのか、重点分野を絞りこむ、あるいは特定のジャンルでブランド化を図るのかなど、稚内ブランドのあり方についての合意形成、ビジョンの共有が十分ではない点にあり、ブランド認証の制度設計と同時並行で、こうした理念や目標についてもスピード感を持って設定していく必要がある。さらに、認証自体を目的とすることなく、認証された産品及び認証制度自体をどのように効果的に発信していくのか、また、流通・販売を強化するのか、さらにはブランド管理など、フォローアップについても支援のあり方を検討しておく必要がある。</p>

【2次評価】

成 果	c	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	b
総 合 評 価	<p>B 見直しの検討が必要</p> <p><2次評価者の視点からコメントを記入する></p> <p>1次評価のとおり取り進めること。</p>						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--